

Zoom配信のオンライン講座

遠方でも大丈夫!ご自宅にしながら大学の講座が気軽に受講できます。

江戸の「学び」と



岩村藩校

今の「教育」



渡邊華山「一掃百態」

今を「教育」の時代ととらえれば、江戸期は「学び」の時代であった。

江戸期の人々はどのように学んでいたのか、その学びの諸相の側からは、

今の学校を中心とした近代の教育がどのように見えるのか、

さらには超高齢化社会に突入した私たちは、これからいかに学び、いかに生きるのかを考える。

なお、佐藤一斎を生んだ岩村藩(恵那市)の学問と

その歴史的な意義にも触れて、江戸期の儒学の果たした役割を考えてみたい。



2022年7月30日(土) 10:00~11:30

対 象 一般

受 講 料 1,500円(税込み)

申込方法 中部大学地域連携センター
<https://www.chubu.ac.jp/news/3873/>
 ホームページからお申し込みください。

申込締切 7月27日(水)
 ※申込時に入金手続きが必要です。



講 師：中部大学フェロー 辻本 雅史

〔学 歴〕京都大学大学院教育学研究科博士課程中退
 〔学 位〕文学博士(大阪大学)
 〔職 歴〕京都大学教授、台湾大学教授、中部大学副学長を経て現職、
 京都大学名誉教授
 〔専門分野〕教育史、日本思想史
 〔主要著書〕『江戸の学びと思想家たち』岩波新書
 『学びの復権』角川書店、岩波現代文庫
 『教育を江戸から考える』NHK出版